

船舶事故調査報告書

令和3年3月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突
発生日時	令和2年1月11日 12時29分～31分の間
発生場所	千葉県千葉港船橋中央ふ頭 浦安沖灯標から真方位045°5.4海里付近 (概位 北緯35°40.6 東経139°58.4)
事故の概要	貨物船DONG PHONGは、出航中、岸壁係留中の貨物船FU HAI 8、貨物船TY GREEN及び貨物船神力丸に衝突した。
事故調査の経過	令和2年1月16日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 貨物船 DONG PHONG（ベトナム社会主義共和国籍）5,552トン 9088213（IMO番号）DONG DO MARINE JOINT STOCK COMPANY. B 貨物船 FU HAI 8（ベリーズ籍）2,797トン 9532111（IMO番号）RONGCHENG FUHAI SHIPPING CO.,LTD. C 貨物船 TY GREEN（シンガポール共和国籍）2,646トン 9163049（IMO番号）TAIYOUNG SHIPPING SINGAPORE D 貨物船 神力丸、267トン 141873、神力海運有限公司
乗組員等に関する情報	A 船長A（ベトナム社会主義共和国籍）免状不詳
負傷者	なし
損傷	A 左舷外板に凹損を伴う擦過傷 B 左舷外板に凹損を伴う擦過傷 C 左舷船尾部外板に破口及び凹損を伴う擦過傷 D 貨物倉ハッチ巻き取り装置に圧壊
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北北東、風力1、視界 良好 海象：海上 平穏
事故の経過	A船は、船長Aほか18人（全員、ベトナム社会主義共和国籍）が乗り組み、錨泊待機の目的で、千葉港船橋中央ふ頭南A岸壁に船首を西方に向けて入船左舷付けの状態から、右旋回して出航中、同ふ頭M岸壁で船首を北方に向けて係留中のD船、同ふ頭北岸壁で船首を西方に向けて係留中のC船及びB船に衝突した。 A船、B船、C船及びD船が係留していた船橋中央ふ頭の南岸壁、M岸壁及び北岸壁は、逆コの字型の形状をしていた。 船長Aは、A船の全長が98.17mで、船橋中央ふ頭北岸壁と同

	<p>ふ頭南岸壁の距離が280mであったが、A船のみで同ふ頭内で旋回できるものと判断し、タグボートを要請していなかった。</p> <p>A船及びB船は左舷外板に凹損を伴う擦過傷を、C船は左舷船尾部外板に破口及び凹損を伴う擦過傷を、D船は貨物倉ハッチ巻き取り装置に圧壊を生じた。</p>
分析	<p>A船は、千葉港船橋中央ふ頭内の狭い水域において、出航中、船長Aが、同ふ頭内で旋回できると判断し、右旋回したことから、係留中のB船、C船及びD船に衝突したものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、千葉港船橋中央ふ頭内の狭い水域において、A船が出航中、船長Aが、同ふ頭内で旋回できると判断し、右旋回したため、係留中のB船、C船及びD船に衝突したものと考えられる。</p>
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭い泊地から出航する場合、広い泊地まで後進するか、引船等を使用すること。